



# 西麗会会報



埼玉県立浦和西高等学校同窓会

西麗会ホームページ <http://www.seireikai.org/>

## 4月26日(日曜日)母校で会いましょう



総会は日曜日開催になりました

マラソン大会 (2008.10.31 森林公園にて)

(撮影 斉藤俊一)

これまで土曜日に開催していた西麗会総会ですが、今年は日曜日開催です。おましがえのないうち声をかけ合ってお出かけください。

- 日時 4月26日(日) 10時30分 開会
- 11時30分 記念授業
- 12時40分 懇親ハーティー
- 14時30分 閉会予定
- 会場 西高50周年記念館
- 内容 ①総会
- ②記念授業
- 講師 中野 喜美先生
- 「西高が生まれた頃の話」
- ③懇親ハーティー

\*

西麗会総会のご案内

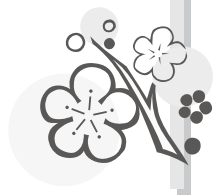
# 2009



# 会長あいさつ

## 遠つ世の宝うけつぐ我等

西麗会会長 高橋 幸雄



全国の西麗会会員の皆さん、お元気ですか。

さて、私は二〇〇八年度総会に於て会長に任ぜられましたが、以来はや一年が経過致しました。

好むと好まざるとにかかわらず、二〇〇九年は、昨年後半のアメリカ金融危機を発端とした世界同時不況の波に、翻弄されざるを得ない一年となるでしょう。

全国の西麗会会員の皆さんにとつて、百年に一度といわれるこの危機の、影響の少なからんことを、心より願つて止みません。

このような中、西麗会は本年も又、母校を卒業する三百五十四名の新入会員の皆さんを迎えます。

「遠つ世」の「宝」を受け継ぐ、新しい仲間達です。



四月二十六日の総会では、中野喜美先生をお迎えして、今年も記念授業を開催します。  
会報、ホームページのさらなる充実に努めます。  
会員の皆さんの元気を支えに、西麗会ならびに母校・浦和西高の発展のために、役員一同力を合わせて活動を通じてまいります。  
会員の皆さんの一層のご支援を、心からお願い致します。

## 講師紹介

### 中野先生のプロフィール



今年の総会記念授業には、  
英語の中野喜美先生をお迎えいたします。

中野先生は昭和二十年に浦和第二高女に入学、途中浦和第二女子高を経て昭和二十六年に浦和西高になってから最初の卒業生として卒業。在学中は初代生徒会長も務められ運動会を生徒会主催で行うなど活躍なさいました。当時、工藤先生に「これからは女子でも東大に行ける時代だ」と言われたことがとても印象的だったとおっしゃっていました。

東大を卒業後、東京で教師生活をスタートされた後、昭和四十年に母校・西高に英語の教師として着任され、以降昭和五十四年まで勤務なさいました。当時は学生運動が盛んで西高でもバリケード封鎖があり、職員会議でも激論が交わされたのが思い出に残っているそうです。

現在はモンブラン登頂を含む山歩き、クロスカントリースキー、そしてアコーディオン、バイオリン、鍵盤ハーモニカを二つのアンサンブルで演奏したりと今もお元気に活躍されています。

常に時代の先端を走ってこられた中野先生のどんなお話が聞けるのかとても楽しみです。どうぞ皆様お誘い合わせの上、母校にお出かけください。

インタビュアー 島崎 富夫  
綿貫 保子

# 私と西高

清水(山内)マリ

私の西高時代はいつぱい青春のつまった宝物です。私の通った西高は、別所沼の上、今の附属中学校の所にありました。女子師範からの古い校舎で、階段教室でした。渡り廊下の中程に用務員室があり、

大きなかまどで湯がわいていました。築山があり校舎と校舎の間には花だんがあり、花が咲きみだれていました。志木街道に面して正門があり、大きなだいたいの樹がありました。その実がうれた時、七輪で松茸を焼いて食べさせてくれた先生もいらっしやいました。毎日が楽しくて、学びに行っていた



たのか、演劇部に行っていたのか、友人に逢いたくて行っていたのか判りません。家から徒歩40分の道のりも苦になりませんでした。今から55年程前なのに週5日制でした。でも、私は休まずクラブ活動で7日間学校に通っていたのです。

制服は、「学生らしく」と云う事で自由でした。毎日、スーツにしたり、セーラー服にしたり、楽しみました。

別所沼で休み時間にボートに乗り、藻にからまれて動けなくなり授業をサボった事もありました。授業中なのに抜け出して映画を見にいて叱られたり、地学の課外授業で長瀬に行き、私だけが川に落ちておぼれそうになり、洗たく物を背負って帰った事もありました。

演劇部で軽井沢に合宿した時は、これこそ青春の一ページを生きているんだと思いました。思い出せ

ば話題がつかない西高時代です。何も世間を知らず、ただ、演劇の道をめざして、夢見ていた一番良い時だったのかも知れません。

卒業と同時に俳優座の俳優養成所に入り、演劇とは何かを学びだした時、こんな筈ではなかったと何度も止めたくなりました。3年間、叱られてばかりでした。ささやかなプライドも「めためた」に叩かれて、情けないやら、くやしいやらでした。「基礎」「基礎」と朝から晩まで発声・滑舌・歩き方・感情解放としごかれました。それでもクラスには都会的な美男美女が何人もいて、浦和っ子の私には何もかも刺激的で毎日、キョロキョロしながら六本木まで通いました。

同級生には、田中邦衛、山本学、井川比佐志、水野久美さん等現在活躍中の方々もいらっしやあって、皆しごかれながら仲良くなりました。

卒業後、「劇団新人会」に入り、研究生でウロウロしていた時、手塚治虫先生の「鉄腕アトム」の声に出演する事になり、それから43年間アトム君の声を担当していました。私の人生の半分はアトム君と過ごした事になります。



我が西高七期生は2年に1度、同期会を開催しています。出席者は50〜60名、皆さん楽しかった西高時代に戻って楽しんでいきます。

## 清水(山内)マリさん紹介

一九三二年生まれ、浦和西高校七期生。西高時代は演劇部で活躍。

日本初のアニメの主役となる。「鉄腕アトム」のアトムの役や「妖怪人間ベム」のベロ役などで有名。

「声優の母」と呼ばれる。お父さんは大映映画で活躍した俳優の清水元さん。

# あの先生は今

～ 出欠はがきから ～



平成二十年四月二十六日に開催の西麗会総会の案内状にご回答いただいた先生方の返信の一部を掲載いたします。紙面の都合ですべての先生がたのご紹介ができないことをお詫びいたします。

また、一部抜粋しておりますのでご了承ください。(敬称略)

念館の古典研修会と母校松山高校同窓会との手伝い奉仕のほかは専ら老と病とを自ら養いつつ人生の総仕上げの日を送っています。

## ●さいたま市 柴崎 武宏(理科)

教師を希望している人を含め、人間関係の大切さを講義しています。またワークシヨップも多く依頼されています。体験により人が変わったと言われる方もいます。

## ●さいたま市 中野 喜美(英語)

今年は珍しく総会の日に出席できることになりました。高い山登りは最近行きませんが、別の楽しみがたくさんあって、いろいろな年代の人と交遊しています。

西高の校歌に「天つ日のあまねく透り鹿島台あかるきところ」とありますが、その「鹿島台」のいわれについて調べました。何かの機会にお伝えしたいと思います。

## ●世田谷区 荒井 淳雄(数学)

いつも会報をお送りいただき有難うございます。私の教え子も皆七十代になりました。ずい分昔のような、また、つい昨日のような気がしております。

## ●さいたま市 山口 畑一(社会)

昭和41年から46年3月迄西高で勤務させて頂きました。36年の歳月が流れましたが36年間毎年同窓会のお知らせを下さるのは西高だけで本当に感謝しております。10年間「日本農民美術運動史」と取り組んでいます。某新聞の「人」欄と「芸術新潮」に取り上げられました。恥ずかしい限りですが纏めたいと思っております。通院中で体調が思わしくありませんので欠席させて頂きます。

## ●さいたま市 悴田 てる(家庭)

いつも会報をありがとうございます。昨年には腰に人造骨を入れた杖にもやっと馴れ元気になりました。学校に勤めた時間より退職した後の方が永くなりそうです。

## ●川越市 中村 正美(英語)

今年も外国語科・普通科の生徒約



記念授業をされる岩崎先生

30人とオーストラリアへ行ってきました。この空は浦和西高校に続いていると思うとなんともいえない思いが込みあげてきました。

## ●さいたま市 中村 清(国語)

加齢に加え、あまりにも急激な世の中の変化に対応できずまごついていきます。今はもう開き直るほかないとマイペースの日々を送っております。

## ●熊谷市 森 勝彦(教頭)

今年も、春の訪れと共に西麗会報を拝読できることに感謝しており

## ●東松山市 荒井 桂(社会)

財団法人郷学研修所・安岡正篤記

## ●さいたま市 滝本 滋(理科)

西麗会総会の案内ありがとうございました。体調不良のため欠席といたします。

祈り申し上げます。

## ●さいたま市 伊藤美和子(事務)

西麗会、会報有難うございます。なつかしく当時は思い起しております。趣味に(ビーズ編物)頑張っております。西麗会のご盛会をお祈り申し上げます。

ます。記念授業をされる岩崎先生にお会いしたいと思うのですが。よろしくお伝えください。

●世田谷区

飯高(田村) 伊磨子(英語)

今年には総会前日の二十五日からベルギーに出かけます。十年以上も前に娘がブリュッセルに住んでいた頃には何度か行きましたが久しぶりで懐かしく思い出して居ります。

●鳩山町 和田 幸男(地理)

会報第32号及び総会案内を送付賜り大変嬉しく存じます。西高の教育活動は日々マスコミ等でも報道されていますが関係者の尽力に感謝しております。益々の御発展を祈念致しております。不一

●さいたま市 菅原 鉄也(国語)

中学部に移りました。これから、公開講座で古典講読をやつていく予定です。今年、「徒然草を読む」をやるつもりでいます。

●さいたま市 小林 功(国・司)

現任校で4年目を迎えました。西高の縁でお世話になった長谷川さ

ん、多田さんが転勤し、駒形さんのハハも去つてしまいました。寂しくなりました。

●吉見町 堀口 幸夫(教頭)

短歌を少しばかりやっています。大虹の右方雲に隠るるも続きて確と山の端つかむ  
妻の手にぶらさがり歩む幼見てその姉もそもそ我が腕さぐる  
ご盛会を祈念しております。

●熊谷市 山下 照夫(校長)

病気をしてからか、季節の移り変わりを素直に受け入れられるよう

になりました。春夏秋冬に応じた野良仕事をしております。益々の西高の発展を祈ります。

●さいたま市 仲西 俊策(体育)

西麗会報を隔々まで楽しく読ませて頂きました。西高の歴史が脈々と流れているのが感じ取れ、過去が甦つて来ました。懐かしい。次回も楽しみにしています。

●さいたま市 奥野 和子(体育)

元気に過ごしております。総会のご案内ありがとうございます。西麗会のますますのご盛会を祈り上げます。私も七十七才。新たなステップを踏み出します。

●宇都宮市 寺内 房江(書記)

会報が届くたび感謝しつつ次も元気でと思います。「戦争の陰忍び寄るわが青春ハワイでダイビングの孫の青春」今の楽しみは七十年来のクラスメートとの文通です。

●川越市 長谷川肇志(数学)

懐かしい西麗会会報を有り難うございました。西高時代を楽しく思い出します。趣味中心の生活ですが、傘寿を目前にして「日日常し

く」をモットーとしています。

●深谷市 権田 貞夫(社会)

いつも会報を有り難うございます。総会のご盛況をお祈りします。

●さいたま市 松崎 豊子(英語)

からだをいたわりながら、一応楽しく過ごしています。ご盛会を祈ります。

●川越市 吉沢 義和(書道)

会報、ありがとうございます。毎年たのしみにしております。今年三月定年(七十歳)退職しました。五月に川越市立美術館で初めての個展(書)を開きます。

●相模原市 平山 良吉(英語)

小生今年84歳。昨年妻が他界。すっかり元気が失せました。昭和20年代に小生英語教師として在職。西高は自由な校風でよかったです。別所沼が懐かし good luck!

●さいたま市 澤田由紀男(数学)

定年退職後十年間私立高校に勤務し、二年前に退職。斉藤先生(物理)と入れ替わりました。西高は、今も教師生活の心のふるさとです。



●**鉾田市 齊藤 恂 (国語)**

茨城県の建設会社の工事顧問として、一級土木・一級造園・一級舗装の資格をフルに活用しています。現代社会における資格の価値を改めて認識しました。

●**江戸川区 村田 秀子 (体育)**

日常は園芸に親しみ九十三歳を元気に過ごしております。

●**さいたま市 八重島昭子 (国語)**

ご案内ありがとうございます。毎年、春が来る度に、西高の桜を懐かしく思い出しております。

●**上尾市 塚原 哲郎 (世界史)**

ごぶさたしていますが西高に縁のある皆様よ、元気ですか? 目まぐるしい日々の中で時々、ふと、西高リベラリズムが懐かしく思い出されます。みんなの西高をこれからも宜しく。岩崎氏はじめ4月26日の盛会をお祈りします。

●**さいたま市 上村 尚治 (数学)**

浦和工業高校に転勤してはや3年が過ぎました。今、数学を教えるかたわら、高校将棋連盟の理事として高校生の方棋大会の活性化に

力を入れていきます。

●**蕨市 太田 敏之 (数学)**

現在所属は大宮武蔵野高校ですが、平成二十年四月から二年間、県外派遣で横浜国際高校で教えます。西高が懐かしいです。同窓会等でまた会いましょう。

●**土浦市 高森 邦明 (国語)**

わが人生で一回だけ担任として卒業させた方々からお年賀状を頂き、有難いことです。去年喜寿記念に第三歌集を出版、月五回の同好会歌会に出て楽しんでいきます。

右の歌集を送らせていただきました。西高図書館において下されば幸いです。(西高在任のことも記しましたので)

●**熊谷市 佐藤 嘉信 (数学)**

昨年三月で定年退職となりました。時間からも、自分からも自由になれないものですね! 会報、毎回懐かしい思い出とともに読ませていただきます。皆様お元気で!

●**さいたま市 新井 知子 (社会)**

定年退職6年目。ここぞとばかり旅行にスポーツジム。身体が金属疲労。医者に「そういう年になったということですよ。」と告げられました。ナニナニ、マダマダ。

●**さいたま市 大木 義夫 (理科)**

ご案内有難うございました。小生八十三歳。昨年脳梗塞になり、接骨院の先生に自宅へリハビリに一日おきに来て戴き、お陰で、元気です。ご盛会をお祈り致します。

●**さいたま市 島崎 富夫 (教頭)**

平成20年4月より、西高近くの与野高に勤務しております。母校の西高に負けないよう与野高の発展

のために微力ながら力を尽くしていきたいと思えます。

●**さいたま市 谷川 洋 (理科)**

大宮東高に異動して一年余。西高二年目以来、十一年ぶりの一年生担任です。毎日斜面林を横目で定点観測しながら通勤して、すれちがう西高生の姿にほっとしています。

●**さいたま市 関根 廣 (校長)**

ご案内いただき、ありがとうございます。伊奈の生きがい大学も二年目になります。硬式テニスクラブの合宿も体験しました。

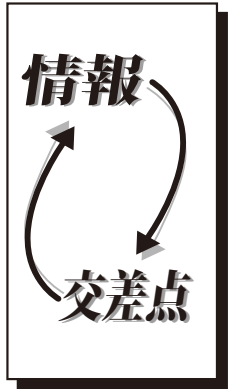
●**さいたま市 楚山 大和 (英語)**

定年退職して満二年が過ぎました。相変わらずですが、千葉商科大で教えています。休みの日は、晴耕雨読と趣味の盆栽でゆったりとした生活を送っています。



総会にて





○昭和43年3月卒業の第20回生のみなさん、左記の通り「還暦記念同期会」を開催しますので、万障お繰り合わせのうえご出席ください。共に還暦を祝いましょう。

日時：2009年10月31日(土)  
15時から18時

場所：大宮・清水園  
会費：8,000円

5月上旬に個別に案内状を送付します。案内状が未着の時は同封のハガキにて西麗会あてに新しい住所をご連絡ください。

○本会会員の井上こみちさん(昭和33年卒)は学習研究社から『犬やねこが消えた 戦争で命をうばわれた動物たちの物語』を、文溪堂より『あつちゃんとフツちゃん』をそれぞれ出版されました。

○本会会員の筒井頼子さん(昭和38年卒)は童心社から『みつぶちやっ

ぶやっ。ふうみにいく』を出版されました。

○本会会員、西高養護教諭の堀田美枝子さんは日本医師会長表彰を受けられました。

○本会会員、西野朗さん(ガンバ大阪監督)がサッカー部の激励に来校しました。(2009年1月20日)

○西高芸術科遠藤栄久教諭は書道作品が日展に入選されました。今回が10回目の入選となります。

○西高の教職員7人が大原中学校で「出前授業」を行い、その模様が埼玉新聞(2008年10月30日)に紹介されました。

\*

○バドミントン部は創部50周年を記念して2008年7月にロイヤルパインズホテルにおいて祝賀の会を行いました。また、記念誌『歩んできた道』を刊行しました。

○女子サッカー部は関東大会に出場しました。

○女子バスケットボール部は3年連続でインターハイに出場しました。弓道部は新人戦女子団体戦で優勝し、東日本大会に出場しました。

○野球部は県大会に出場しました。  
○男子硬式テニス部は県大会に出場しました。

○管弦楽部員6名は文化庁高校生国際文化交流事業で韓国に派遣され、ソウル市大真女子高校管弦楽部とのワークショップに参加しました。

○卓球部は女子シングルの部で県大会に出場しました。

○男子バレーボール部は南部地区春季大会にて準優勝しました。

○1年生加藤慎之介君は県英作文コンテストで奨励賞を受賞しました。

○新聞部発行「浦和西高新聞」は埼玉県新聞コンクールにおいて奨励賞を受賞しました。

## 西麗会にも 転居届を お願いします。

この会報は西麗会会員約2万人に発送していますが、毎年「転居先不明」の赤いスタンプが押されて返送されるものが増えています。

転居された方はぜひ、同封ハガキにて西麗会にもおしらせください。

メール (info@seireikai.org) でも結構です。個人情報 は 厳重に管理いたします。



教頭	小川 貴	越谷東高校へ
事務室長	森田 貴雄	南部教育事務所へ
教諭	高島 健	県陽高校へ
教諭	松木みどり	上尾橋高校へ
教諭	藤井 浩	福岡高校へ
教諭	高橋 八郎	川口工業高校へ
教諭	平野 智史	上尾橋高校へ
教諭	佐藤 竜	県陽高校へ
主任	遠藤美恵子	退職
非常勤講師	秋山 孝子	任期満了
非常勤講師	阿部さかえ	任期満了
非常勤講師	藤森建太郎	任期満了

●宇都宮市 寺内房江(昭和13年卒)

「自叙伝と友に云わるも三部でも納まらねばと笑みて返せり」それぞれの戦後を越えた友との文通を楽しみなり過ぎた人生ながら日々感謝しています。

●東松山市 小山貞子(昭和16年卒)

卒業以来六十七年が経ちました。その間に病氣や子供の死、主人を亡くした方、本人の死亡等苦しい悲しい事が沢山ありました。それでも今在る幸を分かちあっています。戦後、一度も欠かさず続いているクラス会四月に銀座のレストランで再会です。(旧四回生)

●さいたま市高橋美智子(昭和16年卒)

車椅子の生活になりましたが、心は元気で、毎日元気に生活しています。同窓の皆様の幸せをお祈りいたします。お互いがんばりましょう。

●川西市佐々木(野本)しげ(昭和18年卒)

里帰りの折、西高の辺を歩いて来ましたが、学校が一般の人の散歩道になって居るのを見て開放的な様子が感じられ校風にふれた想いで嬉しくなりました。

●町田市平松(山野)安子(昭和19年卒)

千の風に護られ今寿乗り越えた感謝を芸大恒例奏楽堂で行う海の日ガラコンサート、今年復活祭の歌ガヴァレリア・ルスティカーナ千の風に声よ届けと、歌いましょう。

●茅ヶ崎市 金澤尚子(昭和20年卒)

横浜へ移りました。でも、浦和は

週5日フルタイム勤務 70才過ぎも同様 日本で私1人在職(除く〇〇大使)、H19.10.1郵政民営、郵便事業(株)の現在、72才でも同様週5日フルタイム勤務、郵政にターンしてます。

●さいたま市 荒井利尚(昭和31年卒)

年齢相応の衰えは感じつつも、日々の生活を、体に不調なく、つつがなく暮らせますことと、感謝しています。

●草加市 栗本東子(昭和31年卒)

六十五才から始めた短歌の勉強、古文の青木先生を思い出しながら頑張っております。古希を迎えて足腰の衰えも感じますが、なるべく歩くことを心掛けています。

●さいたま市 建部立夫(昭和32年卒)

昨年11月8日に第9回卒の同期会を浦和ワシントンホテルで開催した。毎年開催しているが、出席者は32名だった。もう少し出席者が多ければと願っている。

●蓮田市 細野純子(昭和32年卒)

本年一月二十三日病氣療養中のごとく死にいたしました。生前中は旧友の皆様のご交誼に對しまして心よりお礼申し上げます。夫細野隆史

●伊賀市 七澤敏子(昭和33年卒)

ばなアメリカより日本が一番、しかし流石にクリスマスイルミネーションは、きれいでした。

●さいたま市 堀野忠夫(昭和34年卒)

相も変わらず、学校薬剤師として母校の環境衛生管理に精を出しております。保健室(養護教諭)が後輩なので、密に連絡をとり合っております。

●さいたま市 沢村(前川)栄子(昭和34年卒)

夫婦共々完全リタイヤし、毎日日曜日の気ままな生活をしております。特に旅行が大好きで最高の気分転換になっております。

●蕨市 袖山宝右(昭和34年卒)

上智大アイスホッケー部に入部、以来五十年。現総監督。東京都オールドタイムマー選手権(四十五歳以上)では、現役最年長プレーヤーで氷上を走り回っております。

●川口市 小川正一(昭和35年卒)

定年後、テニス、ウォーキング、卓球、ハイキングと主に体力的な事に参加してきたが、3年後にホルル・マラソンに挑戦する事にした。完走したいと思っている。

●さいたま市 吉村克昌(昭和35年卒)

今年度末に体育館の電気改修工へ

て、その知性と冷静さで活動した飯島勤君が昨年、亡くなりました。心からご冥福をお祈りします。

●さいたま市 渡辺英昭(昭和36年卒)

三月九日同期会盛大に行われまして。関係者の御努力に感謝！高齢の為に二年毎に又集まるうとの決意新たに！

●さいたま市 折茂悦男(昭和36年卒)

折茂悦男は平成二十年三月十八日永眠致しました。サッカー部の皆様お世話になりました。心より感謝して居ります。

●さいたま市 玉川勝則(昭和37年卒)

列島縦断自転車旅、3,300km 53日間、趣味50年、リタイア契機に宗谷岬出発。パートナーに恵まれオシャレで贅沢な旅、人生の得難い貴重な体験でした。PS「パートナーと合算131才、去年秋、鹿児島県佐多岬へ共に元気に到着、ブログを発信しながら走りました。失えない真の友であることを確認したのでです。」

●さいたま市 井口正夫(昭和38年卒)

早いもので、教え子の市原君が西高サッカー部監督になり、これからが楽しみです。

●長野県下高井郡

佐藤(若林)武士(昭和38年卒)

足に土 手に斧 目に花 耳に鳥 鼻に茸 口にほほえみ 胸に歌心に風 肌を汗 これで十分(なな おさかき) 農をやりながらこんな事を感じる毎日です。





なつかしい土地です。別所沼のほとり  
りを歩いたことも花火のことも。四月  
月になると校庭の桜を思い出します。  
貴校の発展を祈ります。

●東松山市 大塚信代(昭和25年卒)

「子や孫と夕食をせり父の日に夫の  
笑顔に幸せ極む」このような幸せがい  
つまで続くでしょう。健康で会報を読  
ませていただくことに感謝の毎日です。

●さいたま市 井原幸子(昭和27年卒)

母校(高女・西高)の校歌、応援  
歌等のCD、校史(エポック)をビジュ  
アルに編集したDVDの製作・有償  
頒布を希望します。今後記念事業を  
企画する際ぜひご検討ください。

注(校史のエポック)過去・現在・未来

●東久留米市 新藤 晃(昭和28年卒)

西麗会会報をお送り頂きました。あ  
りがとうございました。残念乍ら三  
月六日に永眠いたしました。御会の  
ご発展と会員皆様の御平安をお祈り  
申しあげます。(妻節子)

●新座市 松村昭子(昭和29年卒)

都合が悪くて、欠席します。

●北区 小林稔正(昭和29年卒)

西欧の教会等で学童の課外授業に  
よく出会う。先般、京都で小野小町、  
紫式部縁りの寺院、三十六歌仙人物  
画を神楽殿に飾った神社を詣でた。  
この様な施設での課外授業を夢想す  
る帰途となった。

●上尾市 加藤正納(昭和30年卒)

公務員定年退職後 新東京郵便局

題字・カット 山本鐘互(昭和40年卒)

この度、歌集「風の民」を自費出  
版致しました。関東平野に吹く風が  
私の原風景です。お読み下さる方は、  
伊賀市服部町二一〇九一五 七澤  
敏子迄連絡を。(無料)

●さいたま市 成田 誠(昭和33年卒)

卒業五十年、いや半世紀と言った  
方が実感が湧くかも。多感な年頃か  
ら古希も近くなり、之からは弱者の  
方々への手助け、地域への恩返しを  
と行動しております。

●鎌倉市 竹鶴(中川)富美子(昭和34年卒)

五十年間住んでいました浦和を引越  
し、鎌倉に来て五年が過ぎ様としてい  
ます。こちらに来て介護の仕事を始め、  
又今年も一年契約が成立しそうです。  
ヤレ、ヤレ。

●川口市 小堤公明(昭和34年卒)

浦和西高を卒業して五十年の春を  
迎えた。恩師、先輩、同輩、後輩の  
支えがあったればこそと感謝に堪え  
ない。見沼田んぼに往年の面影を見  
ることはできないが、五十年前の滾  
る熱き思いを胸に次の五十年への第  
一步を踏み出した。

●新潟市 中枝 館野 和子(昭和34年卒)

去年の十一月からアメリカのサン  
ディエゴに住んでみましたが、大ざっ

●久喜市 小林 茂(昭和36年卒)

新聞部長・生徒会広報委員長とし

●さいたま市 佐野和義(昭和39年卒)

『19より飲みはじめて きょうの  
年』旨い肴に旨い酒 日々是好日  
毎日ゆるやかに暮らしています。

●蓮田市 後藤鏝四郎(昭和39年卒)

後進に託せず、後輩と共に、現役  
を続けています。西に東に、仕事に、  
遊びに。

●水戸市 根本明德(昭和39年卒)

第二の職場も退職。今年自宅に  
尺八教室を開設しました。今後はボ  
ランティアで演奏活動と尺八道の普  
及に努力していくつもりであります。  
母校の発展を祈る。

●さいたま市 片山瑛一(昭和39年卒)

デイ・サービスの送迎ドライバー  
業務とボランティア活動をしており  
ます。利用者の中に西高の先輩がい  
らっしゃって、とてもなつかしい思  
いをしております。

●上尾市 富沢 武(昭和39年卒)

昨年の八月十二日に亡くなりまし  
た一年六ヶ日の入院でした。長い間  
ありがとうございました。

●杉並区 島野博司(昭和40年卒)

本年二月に級友の片柳仁君が逝去  
されました。十一月のクラス会では、  
住職の石原君の発声で、黙禱し、故  
人の想い出と共に、来年も元気で再  
会を約束した会となりました。

●さいたま市 大熊幸雄(昭和41年卒)

37年勤めた埼玉県庁を定年退職し、  
四月から(社)埼玉県浄化槽協会の



事務局長として働いています。西麗会ホームページの管理運営も楽しんでやっています。

●海老名市 山田 茂(昭和41年卒)

昨年末、退職して、今は自宅にいます。健康回復のため、ジムにかよっています。現役のときは、お酒ばかり飲んでいたので、体をまず、回復させたいです。

●青梅市 増子啓三(昭和41年卒)

昨年の11月「遠暦同窓会」を行いました。西高時代を改めて思い出しました。また会える日を楽しみにしています。

●名古屋市 平田春夫(昭和41年卒)

昨年の遠暦同窓会は、出席予定が急な所用で出席できず誠に残念でした。送って頂いた写真を見ても微かに面影のある方が解る程度で、時の流れを感じます。

●藤枝市 宮野一生(昭和41年卒)

住所が変わりました。宜しくお願致します。

●茨城県猿島郡山田 喬(昭和41年卒)

サラリーマン生活を5月末にて卒業し、故郷に戻り、老いた両親とともに第2の人生を過ごすこととしました。是非遊びに立ち寄ってください。

●北埼玉郡 吉沢一男(昭和42年卒)

20年8月28日 青木信用金庫をめ

でたく、定年退職しました。

●さいたま市 永田喜雄(昭和43年卒)

埼玉県庁で道づくり、川づくりを行っています。母校西高でソフトボールを教え、人づくりになればと思っています。原点は『麗らか』です。麗らかな〇〇づくりです。

●練馬区石塚(小林)信子(昭和43年卒)

同窓会には一度も出席していませんが、会報だけは拝見させていたいています。六十才近くになってしまいました。次の会報を楽しみにしています。

●さいたま市 遠藤(秋山)きく江(昭和44年卒)

世界一優しい母がこの一月、天国に召され、深い悲しみに沈んでおりましたが、〇十年前の西高の屋上で母と並んで撮った写真が見つかり、今の私を励ましてくれます。

●さいたま市 川上行生(昭和48年卒)

卒業35周年記念同期会で、本当に35年ぶりに当時の仲間とバンド演奏をさせていただきました。ニールヤングや五つ子の赤い風船の曲をやって懐かしく楽しかったです！

●文京区 夏堀 操(昭和50年卒)

この歳で人生二度目の転職をしました。まだ来いと言ってくれる所があるというのは、ありがたいなあと感じ

じるのは歳をとったということかな。

●中野区 竹内 斎(昭和50年卒)

50歳を過ぎて海外赴任をしております。仕事はさておき、ゴルフを堪能しようと思った矢先に重い腱鞘炎になり、時間をもて余す生活をバンコクにて送っております。

●藤市 大石 徹(昭和50年卒)

09年11月に卒業35周年記念の学年同窓会を開催予定です。今回は叶君のライブコンサート等も企画しておりますので、奮って御参加のほどよろしく御願いたします。

●北足立郡 伊藤宣真(昭和50年卒)

日本点字図書館という民間の福祉施設に勤めています。ご支援をお願い申し上げます。

●板橋区 石川理恵(昭和51年卒)

昨年の会報の筒井頼子さんの記事が大変感慨深く読みました。娘たちに読み聞かせていた絵本の作者が西高の先輩と知った当時は本当に感激したものでした。そのお気に入りの絵本は二十年以上経った今も私の手元にあります。

●江東区 野崎美夫(昭和52年卒)

ついに、ついに、ついに五十歳になっちゃった。取り返しのがたない思いが胸いっぱいにひろがっている。みんなは、いったいどんな想

いでいるのだろう...

●練馬区 新藤葉子(昭和53年卒)

長女が大学生になりました。日々、いろいろな能力の衰えを感じていますが、大好きないろいろなスポーツを続けることで、元気に楽しく過ごしていけたらと思っています。

●三郷市 松尾(川岸)雅子(昭和53年卒)

長女の卒業から三年、昨年より次女も西高に通っています。入学式や保護者会の折に母校を訪ねることができるので、親孝行な娘達には感謝しています。

●藤沢市 松永敏裕(昭和53年卒)

卒業して三十年になりますが、いまだに夢で校舎を訪れます。ただ何故かいつも購買でパンを買おうとして目が覚めてしまいます。

●小樽市 石原早苗(昭和53年卒)

あいかかわらず踊り三昧の生活です。(インストラクター・コリオグラフィア)夏に大きなダンスライブやります。小樽はいいところです。寿司もビールもうまいよ！

●さいたま市 阿野清治(昭和53年卒)

先日、西高近くの大原テニスコートでテニスを楽しみました。校門から続く坂道を見上げ、しばし青春のきらめきを全身に感じました。

●**光市 榛原照男(昭和57年卒)**

山口県に来てから十年が経ちました。白砂青松の海岸まで五分です。

●**さいたま市 相川賢樹(昭和57年卒)**

卒業して25年が経ち、西高が大変懐かしく感じます。同窓生の皆さんはどう過ごされているのでしょうか。同窓会でもやりたいですね。

●**さいたま市 寺田武史(昭和58年卒)**

最近また西高の話を聞く機会が増えてきました。皆さんのご活躍が我が事のように嬉しく思えます。

●**上越市 土田了輔(昭和60年卒)**

新潟の田舎町の大学で体育教師になり、もう十六年目に突入します。昨年、仕事で久しぶりに浦和駅に降り立ち、あまりの変わり様にびっくりしました。

●**北区 杉山美樹(昭和60年卒)**

三年三組の皆様。去年はいつにも増して大変お世話になりました。本当に久しぶりに岩上先生にもお会いできて感激致しました。これからも未長く宜しく!!

●**調布市長田(増野)由紀子(昭和62年卒)**

卒業して20年ぶりの同窓会に参加しました。話し始めるとみんな変わっていなくて、あの頃に戻れて楽しいひとときでした。

●**さいたま市 杉本雄一(昭和62年卒)**

浦和に越して来たので十数年振り

に西高に行ってみました。管弦楽部の同窓生の皆さん、元氣ですか?音楽室は昔のままの様子でしたよ。とてもなつかしかったです。

●**さいたま市 元島 律(昭和62年卒)**

南フランスに語学留学して十一年。すっかり居着いてしまいました。ブログ始めました。ライブドアのブログ検索で、IMOUXDAVORIです。

●**昭島市 名取(中川)あゆ子(昭和63年卒)**

お世話様です。息子小学校二年生です。皆元気で頑張っております。私もパートで毎日仕事に出かけております。

●**松本市 岸 義朗(平成元年卒)**

妻の仕事の関係で城下町松本に引越しました。冬は大変寒いですが、風情のある素敵な街です。

●**江戸川区 笹本(島根)紀子(平成元年卒)**

会報が届いたちょうどその日、川口グリーンセンターで偶然クラスメートと再会しました。卒業以来19年ぶり、お互い子連れの母親になっていました。

●**川口市 中村好志(平成元年卒)**

高一の選択美術で描いた油絵に22年振りに加筆、完成させて東光展小品部門に出した所、入選しました。画題は考えた末、「西高裏の風景」と

付けました。

●**横浜市 岸本坂井さやか(平成2年卒)**

いつも、楽しく会報を読ませていただいています。今回、私のリクエストした「はじめてのおつかい」の著者筒井頼子さんが載っていて、うれしく思いました。

●**志木市 古賀(中川)みき(平成3年卒)**

お世話になります。六月十二日に出産予定です。女の子です。

●**板橋区 佐藤大輔(平成4年卒)**

昨年12月に結婚し、新婚生活を満喫しています。西高時代の友人達とは今でもよく会い、楽しい時間を過ごしています。硬式庭球部の同期で久々に集まりたいです。

●**さいたま市 澤栄之介(平成4年卒)**

四年前に仙台より、東京へ転動してきました。

●**アメリカテネシー州**

●**櫻庭(杉崎)真弓(平成4年卒)**

仕事でテネシーに引っ越します。テニスコートやプール付きの家を借ります。何もかも、スケールがちがうので、少々戸惑っています。

●**北足立郡 伊田詠子(平成4年卒)**

昨年の夏に、さいたま市から伊奈町へ引越しを致しました。近所には、若い世帯が多く、子供達の声でにぎやかな所です。

●**戸田市 檜原 拓(平成4年卒)**

西高祭や卒業式第二部で味をしめた舞台を現在も続けております。大学在学中に旗揚げした劇団チャリT企画は昨年十周年を迎えました。

●**浦安市 内藤亜希夫(平成5年卒)**

いつも会報を送って頂きありがとうございます。

●**豊島区 十枝内 亘(平成9年卒)**

平成二十年九月、司法修習を修了して、弁護士になりました。振り返れば、法曹を志してから六年が経ちました。夢を実現するには、やはり時間と我慢が必要ですね。

●**さいたま市 大城雅美(平成10年卒)**

私は今も西高から歩いて5分の実家に住んでいます。春になると西高の桜を見に行くのが楽しみです。弓道部仲間とは今も変わらず西高生に戻り遊んでいます。

●**昭島市 萱原(久保田)章子(平成10年卒)**

昨年結婚し、昭島に転居しました。老人病院で働いていますが、人生の先輩は手強い方々ばかりで悩みの尽きない日々です。

●**練馬区 古川亮介(平成11年卒)**

このたび、練馬区へ引越すことになりました。会報を見ると西高時代のこと懐かしく思い出されます。毎年ありがとうございます。

二〇〇八年度

# 寄付者のお名前

(敬称略)

いつも西麗会への尊いご寄付をありがとうございます。お預かりしたご寄付のほとんどは、約二万人の西麗会員の心を結ぶ会報の印刷・発送にあてられるほか、現役西高生の自治活動を応援するため、西高祭補助費などにも使わせていただいております。

同封の払い込み票をご利用いただくと手数料は本会負担となりますが、一般の郵政民営化にもなう手数料改定で本会の負担も増えました。窓口払い込みの場合、一件あたり120円の手数料を本会が支出しております。ゆうちょ銀行 A T M を利用していただきますと、一件あたり80円となります。土・日も利用できて便利なおうえ、本会の負担も軽くなります。

千円、二千円の個人寄付も、たくさん西麗会員にご協力いただければ大きな額になります。

今後とも西麗会の活動にご協力をお願いいたします。

西麗会理事一同

## 旧職員

岩崎敬道

昭和13年卒 (旧1回)

寺内房江

昭和14年卒 (旧2回)

鎌木美恵子 高橋春子

昭和16年卒 (旧4回)

浅子一子 川崎澄子 小山貞子

田口美興子 高木初恵 高橋美智子

月野喜美子 鶴見初枝 寺島慶子

中村光子 松井孝子 渡辺富代

昭和17年卒 (旧5回)

伊藤淑子

昭和18年卒 (旧6回)

門川三代子 川鍋俊子 佐々木しげ

松村喜美 脇屋容子

昭和19年卒 (旧7回)

井上昭子 岸芳偉 土佐澄子

平松安子

昭和20年卒 (旧8回)

杉山幸子

昭和21年卒 (旧9回)

大熊綾子 清野幸子

昭和23年卒 (旧11回)

北村富士江 鈴木栄子 滝本昌子

中野政子

昭和24年卒 (旧12回)

天野美子

昭和25年卒 (2回)

大塚信代 河岡克子 小池幸子

鈴木和子 宮田仁子

昭和26年卒 (3回)

宇津多美子 小川君子 岡田幸子

粕川初枝 小出敏子 高際ひさ子

富澤ミドリ 中野喜美 宮山初枝

吉田克子 上田昭子

昭和27年卒 (4回)

梅田亮子 井原幸子

昭和28年卒 (5回)

菅沢秀夫 田中忠明 山家愉利子

重田圭子 島田幸子

昭和29年卒 (6回)

前田正夫 黒沢和子 増村佳世子

小林稔正 前田孝二 松倉健吉

大熊幸子 国谷桂子 佐藤三代子

大谷康代 金子美里 西口和子

昭和30年卒 (7回)

五十嵐英男 大塚仁郎 大室安太郎

黒須清 小林茂水 貫井博之

早川智明 松崎洋右 吉永毅

青木悦子 新井節子 岩田澄江

加藤絢子 橋本充子 橋本容子

松本淳子 森井良子 森田文字

山内鞠 小俣章二 永堀清

野口允利 萩原利治 渡辺桂助

小川紘子 久保哥久子 鈴木和子

松崎喜美子 青木徹郎 石井健之

大小原幸好 桑原敏明 鈴木正明

種村禮靖 中山修 加藤正納

坂井路子 河田八郎 北村弘正

佐久間義広 清水英明 玉木清一

長谷川和夫 原惠行 間嶋昭栄

山田勝弘 伊地知恭子 石倉春美

金子幸子 増田敏勝

昭和31年卒 (8回)

新井英一 長浜勝栄 難波竹一郎

松本晃 山根祥二 栗本東子

冷水俊朗 荒井利尚

昭和32年卒 (9回)

今井忠 大野栄士 建部立夫

石井勝 新井雅子 近藤聡子

門本ヨリ子 金子悦子 小林久江

栗原能 高木二郎 立川武司

中島幹雄 野中尚武 渡辺正朋

建部立夫

昭和33年卒 (10回)

高村泰裕 豊島泰之 内藤光枝

古畑喜美子 長達彦 鈴木衛

七澤敏子 鈴木孝治 竹ノ谷光美

成田誠 町田利之 稲生陽子

本庄久子 本間恵美子

昭和34年卒 (11回)

山本富士子 小川紀夫 清山和男

間茂紀 齊藤肇 高橋幸雄 堀野忠夫

中枝和子 三林芳子 袖山宝右

竹鶴壽男 上原志那子 岡崎輝子

松浦了トエ 吉田維夫 川畑啓子

昭和35年卒 (12回)

菊池桂子 竹ノ谷裕子 松村昭子

林正子 福田淑子 横田勢津子

小川正一 高橋恵美子 上林俊明

高橋正臣 吉村克昌 針ヶ谷嘉浩

廣居美佐子

昭和36年卒 (13回)

村上明夫 秋山喜代子 小林茂  
高橋司全 青山明子 内藤けい子  
野崎久男 斉須祥子 折茂悦男  
野口純一 戸田隆一 林野宏

昭和37年卒 (14回)

秋山圭子 一ノ宮和子 藤田静子  
笹本孝子 福島眞砂代 玉川勝則  
田中純子 白鳥進 藤井克己  
松原茂 吉岡信二

昭和38年卒 (15回)

岡安史子 杉沢昇 古川智恵子  
村山素子 井口正夫 雲田典子  
高橋正弘 中河原喬一 佐藤武士  
木戸晃

昭和39年卒 (16回)

山田菜穂子 村井公子 小川陽子  
小沼小夜子 片山瑛一 根本明德  
那須弘美 佐野和義 島村一彦  
山田康博 後藤鉄四郎 永田裕  
村井勝美 佐藤誠造 山田信彦

昭和40年卒 (17回)

鶴岡保 橋本秀夫 野口哲夫  
諸星喜男 島野博司 富田輝子  
人見和子 山田孝子 斉藤千和

昭和41年卒 (18回)

大木葉博通 宮野一生 西野久美子  
江川清 佐藤裕子 関根耀子  
高橋みつ子 藤元美代栄 池澤堯彦  
増子啓三 大熊幸雄 平田春夫

昭和42年卒 (19回)

伊藤きみ子 今井八重子 福田まち子  
上倉功 佐竹恵津子 松本知歌子  
吉沢一男 佐藤良雄 匿名  
石川裕一 山形修 山岸勉

昭和43年卒 (20回)

永田喜雄 西村富夫 片柳夏代  
三谷真弓 木村美代子 本間葉子  
松田章子 八木純子 横山千津恵  
門前知寿 吉本満代 千谷一郎  
山下和子 田部井功

昭和44年卒 (21回)

安藤昭・裕子 奥山清志 外山雅一  
関口彰子 辻久枝 丸山紀子  
大山明 加倉井佳世子 榊原啓子  
樋口千枝子

昭和45年卒 (22回)

吉田和枝 齐藤俊一 島崎富夫  
堀田美枝子 大森尚子 島泰子  
中野千枝子 阿部博之 新井康俊  
上野邦雄 金子弘 吉田伸  
井原誠吉 小林由美子

昭和46年卒 (23回)

田中敏雄 船津徳英 武藤智江  
福井一夫 堀富雄 野口万里子  
今岡章夫 矢作哲也 細田陽子  
松澤静男 広田径子 平松義昭  
伊与部史朗 小林惠美 小林良夫

昭和47年卒 (24回)

福田定男 間山和幸 高橋理恵子  
小谷野博史 津田和子 兼良子

昭和48年卒 (25回)

星俊太郎 野口佳代子 野島加代子  
森永留美子 松岡毅 吉倉康晴  
大野寿子 山守純子 武井隆一  
加藤えみ子 島内則子 夏坂京子  
森田千恵子

昭和49年卒 (26回)

清宮千加男 道下敦子 栗原宏夫  
富樫正紀 中川順子 竹内斎  
夏堀操 大石徹 森真一 斉藤登  
高橋みさ子 豊田勉

昭和50年卒 (27回)

澤田雅市 沼口正英 千野典子  
早船雅文 満田三恵子 鳴原勝久  
新谷稔 松浦則夫 武内よしみ  
石川理恵 江口啓子

昭和51年卒 (28回)

関口幸子 三村優子 亀山浩一  
浅見哲哉 星葉子 野崎美夫  
新藤葉子 荒井正明 河野正  
後藤美子 工藤登志也 石原早苗  
渡部智博 赤羽明宏 志波陽子  
阿野清治 大澤晴彦 和田哲也  
内田圭子

昭和52年卒 (29回)

内田圭子  
小見恵一 小林功 桐永香百里  
小出海哥子

昭和53年卒 (30回)

松本和幸 吉田浩子 信沢雅志

昭和54年卒 (31回)

上野恵三 杉井美佐子 福田真穂子  
渡部美奈子 岡本玲 根本みどり  
石川優子 平井順子 田口久徳  
田口里香 大嶋澄子 澤部敏枝  
平賀浩子 高橋かほる

昭和55年卒 (32回)

戸田仁 吉田厚子 吉岡典子  
吉田新一 ロス衣代 大塚紫 黒沢豊  
伊東久美子 山崎正一 井上明美  
榛原照男 福川英司 野平博司  
後藤充明 相川賢樹

昭和56年卒 (33回)

落合辰夫 久保村康史 丸重尚子  
佐藤真澄 根岸栄子 森下利佐  
寺田武史 倉品恵子 石原慶代  
羽田俊之 鈴木智行

昭和57年卒 (34回)

秋山千秋 川井康正 高山憲行  
井上道子 伊藤育子 佐々木裕子  
三野裕之

昭和58年卒 (35回)

土田了輔 山中英美 玄間千秋  
神農光二 中條覚 笠井千奈美  
青木香 大熊康典 佐藤幸江  
増田恵子 山本幸代 児玉朋子

昭和59年卒 (36回)

信田照幸 石川多美子・幸  
長谷川友孝 西山賢吾 三井千絵  
元島律 島村明美 溝口隆一

昭和60年卒 (37回)

信田照幸 石川多美子・幸

昭和61年卒 (38回)

信田照幸 石川多美子・幸

昭和62年卒 (39回)

信田照幸 石川多美子・幸

手塚佐世子 徳武雅子 高橋修一  
長田由紀子

**昭和63年卒 (40回)**

奥山信男・真理綾 長谷川健一  
本間栄治 渡辺誠 紅谷美奈子  
紅谷弘二 泉祐子 高橋洋史  
遠藤孝明 田中康子 青木亮

**平成元年卒 (41回)**

島根紀子 栗原英一 内山美穂子  
楠瀬久美子 福地洋

**平成2年卒 (42回)**

松永智子 森切瑞恵 渡邊有子  
山口静香

**平成3年卒 (43回)**

森泉和宏 中田紀子

**平成4年卒 (44回)**

桜井香苗 大西徹 橋本雅子  
阿久津雄一 池澤奈美 澤栄之介  
天池麻由美 小川圭子 増沢智成

**平成5年卒 (45回)**

本間幸信

**平成6年卒 (46回)**

竹内大介

**平成7年卒 (47回)**

岩本和久 佐藤智大 矢作正一  
中藪恵 高野大作

**平成9年卒 (49回)**

十枝内亘 川村佳宏  
北村智夏 日比克輔 片岡浩一

**平成10年卒 (50回)**

2008(平成20)年度  
西麗会 予算執行状況

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	収入済み額	比較増△減額	摘 要
会 費	1,570,000	1,570,000	0	@5,000×314名
雑 収 入	1,000	709	△ 291	預貯金利子・利息
寄 付 金	1,700,000	1,584,907	△ 115,093	皆様からの寄付
繰 越 金	540,739	540,739	0	2007年度の繰越金
計	3,811,739	3,696,355	△ 115,384	

支出の部

科 目	予 算 額	支出済み額	予算残額	摘 要
1 運営費	230,000	135,386	94,614	
(1) 会 議 費	50,000	41,643	8,357	理事会
(2) 通 信 費	20,000	14,168	5,832	葉書代・切手代
(3) 消 耗 品 費	10,000	1,575	8,425	新会長印,名刺
(4) 交 通 費	150,000	78,000	72,000	理事会
2 事業費	3,270,000	3,042,558	227,442	
(1) 会報発行費	2,600,000	2,492,241	107,759	西麗会報第32号
(2) ホームページ費	60,000	30,000	30,000	
(3) 広報機材費	70,000	70,000	0	デジタルカメラ
(4) 総 会 費	250,000	234,117	15,883	
(5) 文化事業費	50,000	0	50,000	敬老事業・福祉事業
(6) 西高祭援助	100,000	100,000	0	
(7) 入学卒業記念	120,000	110,370	9,630	クリアファイル・卒業証書筒
(8) 学年同窓会補助費	20,000	5,830	14,170	宛名シール印刷補助
3 慶弔費	100,000	0	100,000	
4 積立金	0	0	0	
5 予備費	211,739	0	211,739	
計	3,811,739	3,177,944	633,795	

財産の報告

積立金の種別	金 額
基本積立金	10,067,229
記念事業積立金	6,208,084
合 計	16,275,313

2009.2.5 現在

**平成11年卒 (51回)**

平井博明 阿部愛 藤見歩

**平成12年卒 (52回)**

今出早海 海老原朱里 近野綾子

**平成13年卒 (53回)**

大栗利恵 原田尚仁 向笠菜美 泉泰宏

**平成14年卒 (54回)**

中島由加利 榎本淳

**平成16年卒 (56回)**

加藤まみ 岡本翼 星野陽子

**平成17年卒 (57回)**

坂西野風子 平井久子 笠原明日香 和嶋さや香

**平成18年卒 (58回)**

黒米敏弘 金庭祐子

**平成19年卒 (59回)**

青木健吾 大串茜 山本恵里沙

**平成20年卒 (60回)**

兼宗慧太 池田和馬 丹野なつみ  
久保奈緒美 鈴木亮子

**平成20年3月卒業生一同**

**団体**

# 同窓会だより 今日だけ高校生

## 卒業から十二年振りの再会

川村 佳宏 (平成9年卒)

二〇〇八年十一月十六日に一九九七年第49回卒業生の同窓会が浦和ロイヤルパインズホテル21Fのスカイバンケットにて開催されました。

当初、学年全体での同窓会を予定しておりましたが、幹事の力不足で大きな部屋を確保することができず、口コミで集まった卒業生113名と当時の担任から大沼先生にご参加頂きました。

西高を卒業して十二年が経過し、



皆ずいぶん変わってしまっている。だるうと一抹の不安を胸に会場入りすると、高校時代と皆あまり変わらない姿で、一安心。せつかくみんな揃ったからと、全員で記念撮影。カメラを持っていて

る人は出してくださいます、と言うと次から次にカメラが出てきて、結局約20分間の撮影タイム。次に、大沼先生から感動的なお話をいただき、その後49回卒業生の「M.E.」である渡邊氏の乾杯で会場は盛大な宴会場と化しました。

昨年、一学年上の代の同窓会幹事を務められた青木氏からのアドバイスで、西高生は何もなく盛り上がるからゲームとかは用意しなくても大丈夫だよ。と聞いていた通り「再会」の時間は3時間では十分でなく、大盛況のうちにあつという間に時間が経ってしまい、次回の40歳での再会を約束し閉会となりました。

## 賑やかな弁論部OB会!!

榎本恵美子 (昭和41年卒)

二〇〇八年十一月一日、浦和のレストラン・アイルで七回目のOB会が出席者15名で開催されました。

消滅したはずの弁論部からお誘いがあった時は、びつくりするやら気恥ずかしいやら。当時優良な部員ではなかった私でしたが、あまりの懐かしさに齊川さんを誘い出席することに。すると世代の垣根を越え楽しい話らいが弾み、その話のおもしろい事。さすが弁論部!話し出したら止まらない。私達後輩は感心しきりでした。

これを契機にある年は軽井沢に一泊し、又ある時は先輩の暮らしている町の美しい桜を見に行ったりと楽し



い交流が始まりました。この時だけはお母でも妻でもなく「皆あの時西高生だった」という一点で心が通い合うのでしょうか。又次回は都内の某所で!という話で盛り上がり

がりました。年齢的にも人生一段落した自由の身。この会のお陰で年に一度先輩方の含蓄ある経験の数々を伺うことが、私の歳時記になっています。

## バドミントン部創部50周年の集い

町田 秀夫 (昭和40年卒)

今年で創部50周年を祝うOB会が7月19日、浦和ロイヤル・パインズホテルで行われました。

昭和33年の初代部員を筆頭に会場に集まった老若男女?は総数66人。もともとそのうちの7割が創部から15年までの層に固まったのは、やはり古きよき西高時代を懐かしむ方が多かったためでしょうか。バドミントン部も、その時代のころは埼玉では無敵で、関東大会や全国大会にもしばしば顔を出しておりました。



いま日本のバドミントン協会で舵(かし)取りをしている専務理事、オグシオ人気を作った事務局長はいずれも本校バドミントン部のOBで、これだけを取り上げても栄光と伝統に裏付けされた部ということがお分かりいただけると思います。

当日、パーティー会場には30枚以上のクラブ史ともいえるパネル写真が展示され、また記念の50年史が配布されました。開始から予定の3時間はあつという間に過ぎ去り、別れがたい「旧青年」たちが、その後1次会をはるかに凌ぐ長い時間、2次会、3次会に繰り出していったことは言うまでもありません。



# 第二高女の二つの校歌

「遠つ世ゆ 受け継ぐ宝」で始まる浦和西高校校歌は格調高い文語の歌詞と美しい旋律がマッチしたすばらしい校歌です。在校生も卒業生も、この校歌を誇りとし、大切に唄い継いできました。

ところで、浦和西高校の前身である浦和第二高等女学校には校歌が二つあり、しかも、初めての校歌を制定してからわずか六年後に二番目の校歌を制定しています。浦和第二高女の卒業生で西麗会理事・監事の松本さん、伊藤さん、山口さんに第二高女時代の校歌について聞きました。

「第二高女が一九三四年に開校したけれど校歌ができたのは一九三七年まで待たなければなりませんでした。」  
「あの頃は埼玉師範の教授が兼務で第二高女に教えに来ていました。作詞の正木むら先生も作曲の山本

れん先生も埼玉師範の先生です。」

「へたたなはる／秩父の山を／見はるかす／かしまの岡の」と五七調で女子校らしいやさしい歌詞でしたね。」

「曲もすばらしくて、みんな校歌が大好きだった。」

＊  
待望の校歌制定からわずか六年後の一九四三年十一月、二番目の校歌が発表されました。歌詞の中には「まもりかたき／皇国(すめぐに)の／乙女ぞわれら」など戦時色を濃く反映したものでした。

＊  
「二番目の校歌は渋谷校長のときだったかしら。」

「伊藤好太郎教頭を中心に新校歌の選考委員会を立ちあげて検討したのは渋谷校長だったけれど、十一月の発表会ときには三浦校長でしたね。」

「作詞は北海道大学教授の風景景

次郎で、反歌のついた校歌だった。」

「鹿島たつ／神のさきたま」で始まる反歌だけを歌うということもありました。」

＊  
「作曲は今の浦和西高校の校歌と同じ下総皖一。埼玉師範や東京音楽学校(今の東京芸術大学)で教えていました。」

＊  
下総皖一は大利根町の出身で、本多静六博士らとともに「埼玉の偉人」にも数えられています。

今回、校歌について話していただいた松本さん、伊藤さん、山口さんは三人とも高女時代の話になると一気に女学生時代に戻ったようになり、担任の先生をアダム名やちゃん付けで呼んで顔を赤らめる場面もありました。

校歌は卒業生の心を結ぶ大切な歌です。みなさんの校歌にまつわる思い出を西麗会広報部あてお寄せください。

## 編 集 後 記

「西麗会報」をお届けします。長い間、会長として御苦労された小林さんから、高橋新会長になりました。私達、広報部も、一層張り切って、この広報紙を作りました。(校歌が三つもあつたつて御存知でしたか?)  
どうか、母校、浦和西高の卒業生の皆さんお元気で。(村上)

## 広 報 部

- 村上 明夫 (昭和36年卒)
- 大熊 幸雄 (昭和41年卒)
- 本間 葉子 (昭和43年卒)
- 斉藤 俊一 (昭和45年卒)
- 小林 功 (昭和54年卒)
- 片岡 浩一 (平成10年卒)
- 石原 慶代 (学校幹事)

発行・編集

## 西麗会

発行人 高橋幸雄  
編集人 村上明夫

〒330-0042  
埼玉県さいたま市浦和区木崎3-1-1  
TEL 048 (831) 4847  
FAX 048 (830) 1117  
西麗会メールアドレス  
seireikai@urawanishi-h.spec.ed.jp  
西麗会ホームページ  
http://www.seireikai.org/